

# 令和8年いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

## I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び1年間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災を起因としたものについては回復している。現在の問題は人口減による人手不足や物価高、賃金上昇など震災とは別の問題である。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	住環境について、浸水区域外への移転は完了しており、宅地造成や災害公営住宅の整備も既に終わっている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	被災者の生活は回復したと感じる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	街を歩いていると以前は被災者と分かりやすかったが、今は全然分からない。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	住環境については、ほぼ回復したと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	市内被災した環境等はほぼ復興事業は終了しており進捗は完了していると思われる。ただ震災において、被災者は個々に復興の為、新たな投資(借入)等をしているため、個々には返済等の負担があり、それら等を考えた場合、心に対するプレッシャーは、計りしれないものがあると考えられる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	被災者は各々住宅再建したり、災害公営住宅に入居をするなど完了している。また、仕事の関係についても普通に働いており回復している。ただ、コロナの後、今度は温暖化の影響により、農水産業に大きな影響が出ており懸念される。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	以前と同じになってしまうが、「被災したから、震災があったから」という理由での話を聞かなくなった。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	三陸復興道路の完成、各市町村の防潮堤の完成、村内の復興住宅の完成。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	皆さん高齢になり、体を痛めている人が多く、若い人が近所にあまりいない。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	女	周囲で被災者の情報を聞かないということは、回復出来ているから、話題に上らないのではないか。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	被災した方(生徒・家庭)においても、ほぼ自立した生活を送っている。県の助成支援(中体連、中文連の支援金、県立高校受験料免除等)終了となったが、そのことにより困難な状況になった家庭は見受けられなくなった。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	建物や住宅はすっかり回復したと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	震災前に戻っていると感じる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	インフラや住宅再建などのハード事業は完了しているように思うから。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	女	三陸沿岸復興道路の全線開通やインフラ整備等交通網は大きく改善された。これに伴い生活の面でも大きな変化を感じる。これからは、震災後15年を経過し震災を知らない世代に向けて被災当時の状況を正確に、かつ、継続的に伝承していくことの重要性を感じる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面での回復はもちろん、生活そのものも、その時々時代の背景によるものはあるとは思いますが、震災での影響はもうないと感じる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	東日本大震災からの生活の回復は図られたが、R7春の大規模林野火災によって、市民の暮らしに少なからず影響があった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	私が住んでいる地区は、現在では戸数・人口とも半減した地域。年に1、2戸ぐらいの建物は建てはいるが、これ以上の回復は見込めない状態なので回復したと答えた。1年間の進捗状況としては、まだ土地が残っており、建物等もいくらでも建てることのできるの、やや進んでいるとした。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	15年経ち、近所はまだ空き地が見られ、回復とは遠い気がする。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	公営住宅に一般入居が増えた一方、高齢化、高齢独居が増加している。コミュニティについて今後も課題である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住環境は回復したが、人口減少や高齢化が進み、住んでいる地域全体に活気がなく、これからが心配。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	住環境も定着し、日々の暮らしにも笑いが伴うようになった。雇用は時間的に短くても仕事があることが良いと話している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	空き地だらけで、土地を作った意味がない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	新しいスーパーや大型雑貨店の進出により、町全体がにぎわってきているように感じる。その一方で中心市街地の衰退に歯止めがかからないのが残念である。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	災害公営住宅に入居し、生活の回復は図られてきたが、マイホームを建てたいと思っても、達成できていない被災者が多いようである。雇用は多くの団体から支援をいただき、だいぶ復活してきている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	国道沿いの空き地に雇用創出のための工場が建設されている。それも複数の工場が建設を進めている。これまで長年にわたり、空き地になっていた場所が町の活性化のために活用しようという動きが本年度大きく見られた。町のコンパクトシティー化計画も最終段階へと入ってきている。道の駅も整備され、観光業にも力を入れつつある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	住環境等は住宅再建等の債務等、依然として被災者を苦しめている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	自宅前の公園で高齢者グループがゲートボール等をするのをよく見るようになった。地域コミュニティが再形成されてきたことが伺える。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	女	ハード面は数年前より概ね回復していると思う。生活の回復は物価高騰による消費減少は否めないと感じる。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	震災からの生活は落ち着いて回復できているが、心配なのは食料品の高騰で生活が回復できない状況である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	住環境の再建は概ね順調に進んでいると思うが、雇用の創出については依然として厳しい状況が継続されているように感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	住宅設備などは概ね震災前の状況に回復しているものの、市中心部の旧商業施設が21年12月に閉館後、再開発に時間を要していることや、人口減少に伴う商店街の人通りの減少、老朽化に伴う建物取り壊し後の土地の利活用が進んでいないことなどから、活気を取り戻しているとは言えない状況にあると考える。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	三陸沿岸道路の全線開通により利便性が向上した一方で、市内への回遊が少ないと感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	被災者の住環境は整い落ち着いた生活をしているように感じる一方で、この一年間はあまり変化はない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災の影響による生活の回復はしてきていると思うが、外の要因も重なり、生活の回復がなされているかは疑問(物価高や人口減少等)。飲食店で以前より来店客や固定客が少なくなっていると聞くこともある。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	道路や事業所・住宅などハード面の整備はほぼ完了していると感じる。復興需要も収束しまちづくりも目新しい動きはなく、人口減少が進んでいる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	この1年間限定でみると、変化は見られない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	周囲の分かる範囲では、被災前と変わらない生活ができおり、直近1年間に限っては特に進捗を感じることはなかった。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	被災者の生活については1年前と変わらないと思う。震災後、もうすぐ15年が経過しようとしているが、本県並びに地域の人口の自然減、社会減が進み、社会情勢等が変化し震災前とは単純には比べることができないと最近感じるようになった。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	空き地がたくさんあり。最近閉店が多い。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	前回調査(令和7年1月)への回答に加え、今年は野生動物の目撃情報や出件件数がこの地域でも増加し、農業への被害が拡大するとともに、身体、生命への危機が危ぶまれる状況に不安が募っている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	すでに震災の影響がどうかの時期は過ぎたと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	令和7年大船渡市大規模林野火災により、大きな被害を受け、激甚災害の指定を受けたが、復興、復旧の槌音が聞こえてこない。震災で学んだことが、全く生かされていない。震災の教訓を次世代に伝えていかなければならないのに、15年前のことすら、忘れ去られている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	震災前と同じとは言えないが、現実としてみんな頑張っていると思う。5年とか10年の短期で元に戻るとは思えない中、長期で考えていけばいいのではないかと。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	被災者の生活は回復したと思う。若い人が少ない状況に不安を感じる。地域の子どもの将来が心配だ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災からは回復していると思うが、ここ2、3年は、何も変わっていないと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	震災前と後で比較した場合の回答で、生活や災害に強いまちづくりが達成されているかどうかではなく、比較した場合、達成はされていないが、比較すると同程度になったと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	あまり人と出会いがないので、近所で亡くなる人が多くなっている。他はまあわりと元気にしている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	家や建物の再建は進んだが、心の面ではどうか分からない。切り替えて前に進んでいる方が多いが、知り合いの中でもふとした時に思い返す方もいる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	住環境の再建については、ある程度回復したといえる。雇用については復興交付金が終了して以降、さらにコロナ等の影響もあり、倒産したり失職したりしている方々が増えているように感じる。どんなに地元地域を大切にしたい気持ちでも、働く場がなければ、若者は地元に残れない。雇用の創出が急務。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	被災からは回復したと思われるが、物価の高騰や漁業での不漁など、他の問題の影響が大きいと思われる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	住環境に関しては回復していると思う。生活の回復については、震災後、若い人たちが内陸へ引っ越し、今、小学生・中学生となる子どもたちが激減している。それに伴い30代～40代の方々が少なく、商業やサービス業などは停滞しているように感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	ほぼ回復しているので、進んでいるとは感じない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	他地区での新生活を回復としてよいのかと考える時もある。一度減少した人口を元に戻せるような雇用の創出が欲しい。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	震災から時間が経過して、直後の様な回復の進み具合はかなり鈍くなっていると思う。一年前と変わらないと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	ここ1年間での変化は特に感じられない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	コミュニティの強さは、比べればとても弱いまま。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	変化が少なくなってきたようにも感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	住環境の回復はできたと見える。1年間の進捗状況はあまり変化は感じられない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	生活の中で、人とのつながりが薄くなっていると感じる。仕事で家庭を訪問することも多いので、話を聞くと困りごとなど、どこにも相談できなかったという方は多く感じる。また、復興のための補助金等で頑張っていた企業などが、補助金がなくなることでダメになる例もよく見るようになった。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	住宅再建は完了していると思うが、1年間の進捗は変わらない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	被災より物価高の影響が大きいと感じる。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	移転を余儀なくされた方々(集団移転3ヶ所)、友人、知人で新築移転した方々は私の知る限りでは移転先の地域にも溶け込み、日常の生活は落ち着いているように思う。震災後の工事関係は全て終了し、ここ数年の変化はなく、従って1年間の進捗状況については全く変化がない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	住環境は震災前と同じくらいに回復したが、物価の高騰で生活が苦しくなっている。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	東日本大震災の出来事が薄れて、当たり前のように生活している。沿岸は復興道路も開通して、便利だが、震災後に物資運搬や救助のために出来たということを地元の人でも知らない方が多いような気がする。また、土木関係者も撤退し、アパートなども余っていて資金が入ってないと聞く。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	住宅再建する方々も落ち着き、回復しているように見えるが、三陸道開通により、市内の交通量が減ったことで、移動手段(車)のある人より、無い人は生活に不便を一層感じるのだと思う。公共交通機関は充実していると言えず、改善が必要。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	震災当時の状況からの生活は住宅も完成し、災害公営住宅等も空き部屋があるほど、被災者の人たちの住環境は整っていると思う。今は震災以外により、生活が苦しくなっている方々がいると思う。(震災需要が無くなったことによる会社のリストラなど)。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	被災し再建。ようやく安定した生活ができつつあると思った矢先の森林火災。二度の自然災害で仮設住宅に再度入居している被災者もいる。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	完全に回復したので、これ以上進まないと思う。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	被災したことが要因となる話題が聞かれなくなった。
わからない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	復興(震災)事業による生活の回復は既に完了したと言えるのではないかと。色んな意味で、これ(今)以上の生活の回復は見込めないと思う。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	震災以外の要因が重なりすぎて比較が難しい。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	被災なのか高齢化によるものなのかは不明だが、生活が厳しいのではないかとみられる方々を見かける。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	周囲の方とあまりこの話題について話すことがないため、よくわからない。見た感じでは回復したように思う。
わからない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	被災からは回復したと思うが、地域の衰退を感じる(人口減少、空き地の多さ)
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	数年前から回復したと感じている。落ち着いて生活しているように思う。進み具合は分からない。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	震災から15年も経過し、現在は、被災者がそれぞれの生活をしており生活の回復というのは、どこを見ればよいのか分からない。私も被災者の一人だが、いつまでも被災者だからという気持ちは持っていない。

## II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び1年間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域経済は回復したと思われるが、近年の物価高騰にはついていけない状況。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	いづらか人口も少なくなったようだが、これ以上経済は進まないと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	一年間と規定した状況をみた場合には大きな進捗はないと思う。ただ水産業は自然と向き合う職業なので、自然災害が起きないことを願うものである。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	地域における震災工事が完成した。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	天候不順(高温、大雨等)で作物の成長が良くない。イノシシ、シカ、ハクビシン、クマ等の鳥獣の被害が増加、対策に悩んでいる方が多く見られる。農業機械の劣化により事業を止めていく人が見られる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	女	町内で被災した海産物関連、水産業の会社や工場が再建され、通常と変わらず営業しているように感じるから。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	地域経済は回復してきている。コロナの影響で経済的に苦しくなり、物価高も重なり、苦しい状態にある方が増えてきていると思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	地域活性化のイベントが一年前より多く増えたと感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	職種によってかなり差が出てきている。復興景気も終り、建築業、建設業は大変なようである。また、農水産業においても、温暖化の影響により、生育不良やへい死等でこの先どうなるか懸念される。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	地域経済は回復してきたが、物価高など厳しいと感じる。水産業は不漁により収入源で大変と感じている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	回復していると思うが、震災後町外に移住したりで人口が減り、また個々の商店もなくなり、今は唯一スーパーだけとなっている。スーパー自体はお客さん側を考え、良心的な商いをしてくれている。スーパー自体も住民と一緒に被災したので何事でも被災側の立場を考え、良心的である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	地域経済に関しては、特に水産業については、震災以前の水準に達していないと感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	富裕層の多い大都市圏では回復が進んでいると感じるが、地方では、閉店が相次ぐなど厳しい状況が多いと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	人口減少による経済への心配要因はあると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	大規模林野火災によって、住民が市外へ移り住んだり、様々な地域の行事等が一時自粛されるなど、地域経済の停滞の要因となることが発生した。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	復興工事が完了し公共工事がなくなり建設業者(土木関連)の業況が厳しくなっているように感じる。人口減少、少子高齢化問題、活気を感じられない。三陸道路全線開通に伴う通過型都市化が進んでいる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災前と比べて回復したかどうかはどちらとも言えないと思う。自動車道の開通により物流や人的交流は以前に比べて活発になっていると感じているが、人口減少や高齢化により規模の縮小を感じている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	この1年間限定でみると、変化は見られない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	地域経済の回復について、被災の影響を感じることはないが、人口減少や物価高騰等の別の要因により地域経済の活気が感じられないと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	産業によって回復したもの、そうでないものに分かれているように思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域経済に関しては、5月に旧吉田家住宅が開館となったものの、特に進展は見られない。この1年間ではどちらともいえない状況。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災前と比べるとというより、ハード面の復興事業の終了時から、どう活用できているかの評価に変えたほうが良いと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	変化については特に感じることはない。物価高で買い物の回数が減った感はある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	女	被災により地域経済の構図は小さな街なので変化したとは思ふ。主力の漁業は温暖化等でダメージを受けている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	人口減少により農林水産業の担い手不足で、農家、漁家が減ってきているので心配だが、新規就農者が増えて見えるので、一縷の望みがありそう。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	漁業に関して言えば、サケの不漁による水揚げの減少やホタテのへい死による水揚げの減少があるので、被災前と比べれば「やや回復程度」、地域全体を見れば業種によっても違うのではないかとと思うのでどちらとも言えない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	コンビニ1店だけで買い物ができない。特に高齢者。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	水産業はほぼ回復したと思う。高水温で、サケ、アワビはとれなくなった。漁協の経営は厳しいと思う。何か対策をとる必要があると思う。農業の後継者も少なく、10年後中山間地の農業は衰退すると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	経済は回復したと思うが、この頃、仕事が減ってきている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	同じ町内でも、ここ一年間水産業とか商業関係など出歩くことがなかったので何も分からない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	震災だけが理由ではないと思うが、一部では賑わいを取り戻している一方、後継者がいない等の理由で店が閉まっているところが増えている。今後も継続していけるような対策が必要と思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	東日本大震災の影響による地域経済の回復は人口減少や高齢化、働く場が少ない等の理由により、これ以上は難しいと考える。さらに水産業の低迷や復興特需が終わり、建設業界も苦しいと聞いている。ジビエ等新しい特産をつくるべく、頑張っている人たちもいるが、今後町の経済が発展、継続していかないと苦しい状況にあると言わざるを得ない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	震災後の様々な支援により、経済は回復したと思う。しかし、温暖化の影響は基幹産業に大きく影を落としていると感じる。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	すでに回復しているので、進んでいるとは感じない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	業種的に感じる場所は、就労援助(支援)家庭や生活保護家庭は減っておらず、ここ3年間でも横ばいといった状態で減少傾向とはなっていない。町でも様々な雇用を生み出すための施策は取っているが、その恩恵や結果が出るまでにはまだ年数を要すると思われる。復興に関しての支援がすべて終了した後の経済格差については、課題が大きく出てくることが予想される。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災の有無にかかわらず、この地域の経済は厳しいと感じている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	震災の影響を感じられなくなりつつあるという面で回復といえるが、この15年間の他の様々な出来事による経済の落ち込みは大きい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	地域経済に対する影響が被災か現在の経済情勢のものか判断がつかない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	活気がなく、町全体が徐々に廃れていっていると思う。震災とはまた別の話だと思うが。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	被災前から比べると新たな産業など創出されたと思うが、地域に活力が感じられず、逆に鈍化してきていると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	震災前より回復したと思う。山林火災や物価高、漁獲高の減少など、1年前より元気が無いように感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	女	震災復興道路の開通に伴い物流や人的交流が活発になり観光面などで地域経済に貢献していると感じるが、他方、復興事業特需の終息による就業場所の減少や少子高齢化及び物価高など現在の経済状況から営業を止める事業者がいる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	町内にやや大きい工場が2件建設予定。町民に周知や募集のチラシが入るなどした。個人商店がやめていく反面、働き口が増えるのはありがたいことと思う。小学校が統合され、旧校の活用が課題と感じる。建て替え7年目程で使われなくなった校舎の維持費など、町の財源の使い方が疑問。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	物価高騰の影響もあるため。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	変わってないように感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	補助金がなくなって経営が厳しくなってしまうケースを見たり聞いたりすることが多くなった。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	震災後から過疎化が急速に進み、人口が減っている中の回復になるので、どちらとも言えない。町内では道の駅やコンビニなど新しく建ったお店が出てきて、一部控えていたお祭りも復活して、多少の活気が出た1年になったと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	被災の影響はないと感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災前には及ばないが、ある程度までは回復しているように思う。ただ、震災に起因しない様々な要因、例えばコロナや人口減少、更には最近の漁業の不振などにより、地域の経済は停滞しているように思う。特に漁業者の不振は地元としては大きい深刻な問題だと思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業が不漁。スーパーなどが撤退している。廃業する店が多い。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	復興需要終息に伴う関係者の人口流出、水産業の低迷等マイナス要素が多岐にわたる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	東日本大震災の影響による地域経済は回復しているが、違う要因(人口減少、物価高など)による地域経済の停滞、減退は感じられる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	地球温暖化等により沿岸部では漁業関連の産業は低迷し、金融面をはじめ様々な支援を受けた企業等は経営面で重荷になっているのではないかと。地域経済は震災の影響に限らず、その他複合的要因により廃業や倒産する企業が増え不安を感じる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	飲食店の新規開業も見られるが、物価高で生活が厳しくなっており、街に賑わいは見られない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	漁業の好不漁が地域経済を左右してきた地区であるが、最近漁業従事者が減少し、経済の動向が心配。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	震災後、復旧した養殖施設の老朽化に伴い、施設のやり替えに直面しているが、物価高、高齢化の問題で養殖を廃業する人が増えてきた。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	市の湾口防波堤は平成2年に着手しているが、計画では令和15年頃、完成予定のようである。その間に、また大きな津波が来れば、大きな被害が予想される。予算などの関係もあるかもしれないが、早めに完成してほしい。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	震災を境として、大きく人口減少が進んでいる。それだけが原因ではないかもしれないが、そのことにより地域経済の伸長も少ないと感じる。近年教育現場では学校規模縮小により教員減、学級減、統廃合が急速に進み、部活や教育活動に多くの困難を抱えながら運営している。地域の会社の休業や倒産も目立ってきており、地域や行政の頑張りもみられるが、不安や課題も多い。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	復興に係る様々な取組が進められ、三陸沿岸道路の全面開通による物流や人的交流の活性化等、地域経済の着実な進展は感じる。しかし、サケの漁獲量の激減や就労先(事業所等)がなかなか増えない状況が続いており、加えて昨今の物価高騰が改善されない状況からも、地域経済は全体的には進んでいるとまでは言えないと感じている。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	物価高もあり、経済の回復はあまり進んでいないと思う。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	被災というくくりを超えて、他の要因も加わったので地域経済なので、よくわからない(物価高、温暖化、人口減少など)
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	回復というより以前の良くない状況に戻りつつある印象。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	サケの回帰率が下がり、漁獲高が激減し、ウニ、アワビも中国の輸入規制などにより、単価の下落などで漁業が不振で地域経済に影を落としている。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災復興工事の終了、主要魚の不漁、コロナウイルス等の理由から一度回復を見せた経済も再び落ち込んだ。建設業は特に影響が大きい。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	当地区は建設業を生業としている事業者が多く、復興事業等の公共事業の減少により各企業の体力が疲弊している。浮体式洋上風力発電事業の実現が該当地域のみならず、沿岸地域の活性化に大いに資すると思われる。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	毎年、悪くなる一方。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	前回調査(令和7年1月)とほぼ同じ理由のため。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地元行政の広報誌は他市町村の大手印刷会社で印刷している。その会社も震災で被災してグループ補助金を受けている。同じ被災者ではあるが大きな被害を受けて復興させようとしている。地元を蔑ろにして他市町村の業者に発注する考え方がわからない。震災の時、サプライチェーンが壊れて、大変だったことを忘れている。地域経済の活性化を地元行政は何も考えていない。復興のその先を見据えなければならない。発注する公務員は被災しても職場がなくなる。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産物の死滅が多くて漁業者が元気がない。今後多くの人が不安を持っている。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	若い方の人口流出の影響がここに来て大きなダメージになって来ており、人手不足により、全産業が落ち込んでいる。人通りが少なく、商店が減少中。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	サンマは、11月末まで水揚げ数量が本州一をキープし、今年はようやく地域が活気づいた。しかし、秋サケの不漁が続き加工品会社など漁業で生計をたてている沿岸の経済状況は厳しい。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	水産業の不振は深刻であると感じる。イベントには人が集まるが、本来の活気あふれる魚市場の姿ではない。サケが戻らない事へのさみしさを話す人も多い。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	少子高齢化や人口減少による村の活性化に大きなマイナスの影響があると思われる。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	復興と関連の有無は分からないが、商店等の閉店や縮小が見られる。人口も減少している。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	震災が関係しているかどうかは分からないが、地域の経済は悪化の一途をたどっていると感じる。地元根付いていた複数の店舗が軒並み倒産している。介護サービス事業者に関しては、物価高騰のあおりを受け、赤字が続いている。人材確保も課題。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	震災以外による要因で、地域経済は悪くなっていると思われる。震災需要がなくなったことによる仕事の減少による社員のリストラなど。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	市内中心部での人の動態が少なく感じる。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	完全に回復したので、これ以上進まないと思う。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	震災以外の要因が重なりすぎて比較が難しい。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	物価高騰の影響がある。地域経済の回復が望まれるが、難しいのではないかと。

### Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び1年間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容をとりまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面は充実している。あとは時間の経過による住民の意識低下がないよう、取組を続けていく必要がある。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤などのハード面の整備は完了している他、当地区においては平成28年に発災した台風10号の復興工事も今年度完了し、より災害に強いまちづくりが進んだといえる。一方、ソフト面では、災害発生から年数が経過するにつれ、住民の災害に対する意識低下が懸念されることから、啓蒙活動を継続している必要がある。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	2025.7.30の津波警報発令時に避難した経験から、自治体や住民の意識の高さが感じられた。継続して防災意識を持って行くことが必要だと思う。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	住環境は整備されたと思われる。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	災害により被災した構築物はほぼ完了している。よって災害に強い海岸線に構築された防潮堤は以前の約2.5倍の高さになり、減災としての評価はされる。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	海岸に防潮堤が出来たことは良かった。東日本での津波の高さは、14Mとのこと、その高さの防潮堤が出来たこと。だが前日の岩手沖の時は避難者が少数であったことが気になった。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	今年も地元高校生による小学校への防災出前授業があった。津波の経験のない子どもたちへ伝えていくのは今後も必要だと思う。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	大規模林野火災で多くの人に避難指示が出て避難所が開設、運営されたが、津波を想定したマニュアルしかなく、臨機応変に対応ができなかった。市の中心部は平常通り営業していたのに、避難所では物資が不足したり、食料が余ったりしていた。地域経済への2次災害をもたらした。非常時には県の指導が必要である。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地区の復旧計画(提言書)はすべて事業完了している。今後の課題は防潮堤、漁港、砂浜(海岸)、河川の管理をしっかりすることであると考えている。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤の完成
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	100%防潮堤の工事も終わり、去年同様何も変わっていない。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	三陸沿岸道路のICのフル化や新しい道の駅の開業等で交通網や避難場所としての整備が進んでいる。また、台風19号災害を教訓に砂防ダム等も整備が進み、より安心して暮らすことが実感として感じられる。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	女	防潮堤も整備されているし、地震津波警報・注意報の際の防災放送や緊急通知メール等での周知もしっかりできているし、日頃の防災訓練にも力を入れているから。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤の整備、津波伝承館等、ハード面は完了したと感じる。最近の大きな地震(その後の津波注意報や警報)でも、安心して行動に移している。中学生が防災フェスタのボランティアを行うなど、「語り継ぐ」というフェーズに入ってきたと感じる。子どもたちの力に期待したい。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	12月に起きた津波警報の際の避難対応の早さも迅速であったように思う。町民の避難指示に対応する動きも多く見られた。そのような様子から教訓はしっかりと活かされ、引き継がれていくようになっていくことを感じた。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	安全なのかもしれないが、町と海の高間に高い壁があり、景観が悪いと思う。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	14メートルの防潮堤は安心できる。地震が起こるたびに、「はっと」当時の不安がよぎることはあるが、安全なまちづくりは進んでいると思う。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	ハード面は終了したと思う。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	カムチャツカでの地震、12/8の青森県沖の地震、現在の北海道三陸沖後発地震注意報などのたびに、避難指示や避難所設営があり、体も頭も避難することに慣れ、防災意識の低下を防ぐことにつながった。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	閉伊川水門が完成することによりハード面の整備は完了に近づいているため。また、避難意識等の風化は感じられたが、2025年12月8日発生 of 青森東方沖地震での津波発生により後発地震注意情報が発表され再び避難に対する意識の高揚が見受けられる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	この前の地震でも感じたが、災害に勝つために人々の意識が少し薄いと思う。避難するには、もっと大きな津波が来ると思っているようで逃げない人が多かった。(夜遅いこともあったかも)
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	災害に関しては、全ての工事が終わったので、達成したといえる。1年間の進捗としては、各町内会で備蓄したりいろんなことをしているが、ほとんどの住宅が高台にある。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	ハード面は達成しているが、ソフト面が問題。問題点の例をあげれば、徒歩避難が原則となっているが、避難場所まで1.5kmあるので、高齢者にとってかなりきついと思う。真剣に車避難を考えなければならない。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	災害に強いまちづくりは進み、町民の防災意識は高まっている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の整備の完成により災害に強いまちづくりは達成したと思う。今後は完備した避難所が必要と思われる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	防潮堤は強く高く長く聳え人々と生活を災害から守るべく出来上がりつつある。今は安心して災害から取り戻した皆さんとの生活を楽しく暮らしている。この後災害が起きない事を願って。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤が完成しても、またそれ以上の津波が来ると言われているが、それについてはどうなのか。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	津波対策や津波避難道が少しずつ整備されている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	ハザードマップによる浸水区域の見直しなど、改善されていると思う。避難所のあり方は再考の余地があると思う(夏の暑さ、冬の寒さetc)。防災もだが、減災の視点も入れて、いかに被害を少なく抑えていくかということも考えていくといいと思う(100%防ぐことは難しいので)。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	ハード面は達成しているといえるかもしれない。しかし、ソフト面(津波を経験していない世代への防災教育、震災で亡くなった方々の祈りの場、子どもたちの遊び場の整備等々)が十分ではないように感じる。町の防災訓練では、頑張っている地域もあるが、全体的に参加者は少ない。参加しているのは高齢者または子どもたちで実際に避難したり、避難所運営で中心となる世代の参加が少ないと思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	地域の防災拠点の役割を含んだ学校の高台移転が進められている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	自治体は努力していると思うが、各個人の意識に差があるようである。学校体育館を避難所にする場合、暑さ対策(エアコン設置)をしっかりとしてほしい。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	震災前に比べると、水門整備など災害関連の整備はかなり進んだと思う。多くの教訓が生かされていると思うが、住む人の意識レベルでの継承が今後必要になってくる。新しく住み始める人、未来を担う子供たち等を巻き込みながら意識を高めることで災害に強い安全なまちづくりができると思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	避難訓練に参加しているが、毎年一定以上の人々が参加しているように感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	河川の改良工事も始まり、以前より進んでいると感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	震災前より災害に強いまちづくりはできたと思う。山林火災、台風、地震など、いつ発生するか分からない自然災害に対して、警察、消防、消防団の方々に素早く対応していただいて、安心して生活できている。ありがとうございます。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	インフラ等の整備は確実に進んでいると感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	海岸堤防の整備や土地区画整理等少しづつ達成していると思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	年数が経過して、不安に感じるところが見えてきている。(東日本大震災以前に工事されたところが劣化してきているように感じる)
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	津波注意報等が出されることで、備えを見直すきっかけになったが、高齢化も進んでおり、車避難など、避難方法のあり方を考える時期に入っていると感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	ハード面の整備は終わったが、先日起きた津波注意報の時に、注意報の時点で避難をしない企業が多いと思われる。社会活動を続けなければならないのも分かるが、注意報の時点で避難をする心構えを持つことが大事だと思う。注意報だと避難しないという意識が、未来になって、また地震が来たときに「どうせ津波は来ないから避難しない」という行動に変わってしまうのではないかと心配である。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	青森県東方沖地震及び後発地震注意情報時における行動が早くなったと感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤の工事が進んでいる
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水門工事が半分残っている。津波がこないことを願う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面に関しては達成していると感じるが、この一年間では何も変わっていないと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面の整備はおおむね完了しているのではないと思う。津波に対する意識は高く、内陸に比べて防災意識は高いと思う。津波以外でも水害なども多く発生しており、その対策は必要となってくると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤が整備され三陸道も開通している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤等の整備は問題ないと思われる。今年7月30日に発令になった津波警報により役場から避難指示が出されたが、実施に避難した村民は少なかった。また指示を出した役場職員についても一部を除いて通常業務を行っていた様子。災害に対する意識が低くなってしまったと感じた。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の整備は達成したものの、私も含めて、周囲の方々も避難などに対する思いが甘くなっているような気がする。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	ハード面の防災対策は終了している。ソフト面の継続、伝承が問われる。それなりにできることはやっている様に思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	女	道路整備や河川の拡張工事は進み以前より安心して暮らしているが、想定外の新たな災害に見舞われた場合の不安がある(震災後に建てた住宅は、ハザードマップで危険区域となっている)。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	防災設備も整い、安心して暮らせる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	高台移転しないと意味がない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	安全なまちづくりは達成していると思う。あとは個人の意識の問題だと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤や避難道などの整備は終わったと思うが、震災と同じクラスのことが起きると、これでいいか分からない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	ハード面は完成したが、ソフト面(意識の違い、よそから来た人達への避難の注意、観光交流など)に対してどう対応するか。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤は整備されたが避難道路、案内看板が不十分。町内以外から来た人には分からない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	今回、カムチャツカ沖等、震源地が海外であっても津波到達、津波到達の恐れがあると警報が発令された。市街地にかさ上げして新しく建てられた店舗は軒並み営業中止になった。市役所もその近く。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	防災士の免許を取った方々も多くいらっしゃるの、市全体では取り組みを強化しているように思う。ただ、12月8日の深夜の地震では、避難所へ車が殺到し、渋滞ができたようである。避難場所によっては、暖房やエアコンもないところもあるようである。避難所に行っても、寒さや暑さでお年寄りにはつらいのかもしれないので、設備をしっかりとっていただきたい。そして1番大切なのは、自助、共助、公助だと思うので、何かあったら助け合って避難したいと思う。高齢者が多い市なので、声をかけていきたいと思う。子どもたちにも東日本大震災の思いをしっかりと伝え、命の大切さを感じられるよう復興教育を充実していく。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤などが完成したが、その後津波の最大想定の高さが変更されたため、十分達成されたとは言い難い。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	行政主導による防潮堤の整備等の安全面の強化や学校教育における復興・防災教育の充実により、自助や共助への意識高揚が図られていると感じる。一方で、昨年度との取組の違いや改善が目に見える形になっているかと言うと、それほど実感がなく、不明というのが正直なところである。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	様々な取組はなされていると思うが、人々の意識は低下してきているかもしれない。先日、大きな地震があり、避難指示が発令されたが、避難しない人や車で移動したために渋滞に巻き込まれた人がいる。自分も避難してみると、「どうしたらよいか」迷うこともあった。自宅が浸水想定区域かどうか分からない中学生も多い。継続的な訓練や学習の必要性を感じた。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	道路・防潮堤・水門は出来上がっているが、浸水地に商業施設等が多く見られ、意識の希薄化につながってしまわないか心配である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	災害に強い街にはなったと思うが、津波注意報や警報による各市町村の対応にばらつきがあり、判断に困る場合がある。(防潮堤の外はダメの地域や浸水エリアはダメという場合があり、各市ごとに同じ注意報でも異なる)。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	女	前回回答と同意見。東日本大震災の被災に関係したものに限定すればハード面ではほぼ達成されたように思える。ただし、今後予想される日本海溝・千島海溝巨大地震の被災想定に対する取組で見れば、各地域で自主防災組織が結成され震災に対する考え方が芽生えてきており良い方向だと思うが、その内容についてみれば東日本大震災の付け焼刃に過ぎない。これで良いのかという疑問は残る。いつの時もこれで万全だということはないが、組織を作り行動指針も作りただけではないような気がする。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	ハード面は整ったと感じるが、ソフト面については、特に意識の薄れが懸念される。また津波警報と注意報の基準が変わったりしているので、浸透しているかの検証は必要。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	事が起きる前の備えに力を入れることができたと思うが、予算的に難しいのかもと考えている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	自主防災組織などのソフト面と対応の強化が必要。避難所のエアコン設置など、暑さ寒さへの対策が必要。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤などのハード事業は全て完成し、安心度はかなり高いと思う。従って1年間の変化は全くない。震災に限った設問として捉えれば、正直、すべて完了しているのだから、5進んでいるとか、6分らないとか選択に戸惑うことがある。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	東日本大震災を踏まえた対策は完了したものと思われるが、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に対するハード面の対策が必要と感じる。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	12月8日の地震による避難において、さらに考えなければならない点が浮き彫りになったと感じる。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	防潮堤などの整備は対策されているが、避難道路はまだ整備が必要と思う。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	7月末に津波警報が出て避難をした際に避難場所やその後の避難所へのルートなど安全とは言えない部分もあった(猛暑の中での避難なので、避難場所が炎天下)。また市内で一番大きな中学校が浸水区域にあり、今後統合が進んで、その場所1か所に集まることになること。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	これからあるかもしれない災害に対して一人一人が避難する意識を持ち生活ができれば、より災害に強い安全なまちづくりが進むと思う。自分も非常時持出袋と避難経路を確認したいと思う。
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	完全に回復したので、これ以上進まないと思う。
わからない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	自分の住んでる地区は、ハード面はほぼ達成していると思われるので、ソフト面で全国各地で発生している災害も参考にアップデートする必要があると思う。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	震災以外の要因が重なりすぎて比較が難しい。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	外見的には堤防の工事は完了しているように見える。堤防の壁面のペイントが中途半端で放置されて数年経つ。町がどう考えているか分からないが、防災へのメッセージや役立つ内容を描いた方が多くの人目に触れ、ハード面だけでなく、人の意識に知識として印象付けることも防災につながると思う。落書きの放置のままではより有効と思うがどうか。
わからない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	津波に関して、警報級の津波になったとき、通行止めになることが高いのは分かるが、自己責任であろうが、そのまま通れる環境であるのが、何のための安全なまちづくりなのか意味が分からなくなった。この辺を1からやり直すべきなのではと思った。今年は津波に対する課題が大きく出たと改めて思った。三陸道が通れるから良いではなく、その下町45号線の強固な安全策をもう一度考えるべきだと思う。
無回答	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	令和6年1月調査への回答理由に加え、避難場所の管理・整備や避難所のオールシーズン対応の管理対策や衛生面に配慮した設備の充実が望まれる。
無回答	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	水門、三陸道路が完成し安全になったと思う。大雨、洪水が起きても、地域で協力して掃除など行っている。将来的に、地域で助け合える様、地域の人口減少対策が必要だと思う。

## 令和8年いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

令和8年3月2日  
岩手県 復興防災部 復興推進課

〒020-8570  
岩手県盛岡市内丸10-1  
電話 019-629-6935

### 【自由記載集:掲載にあたって】

- ・自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。  
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)